

「研究テーマ」

NIEノートから見える世界・学ぶ世界

西宮市立平木中学校

校長 鍛示 英子

教諭 渋谷 仁崇

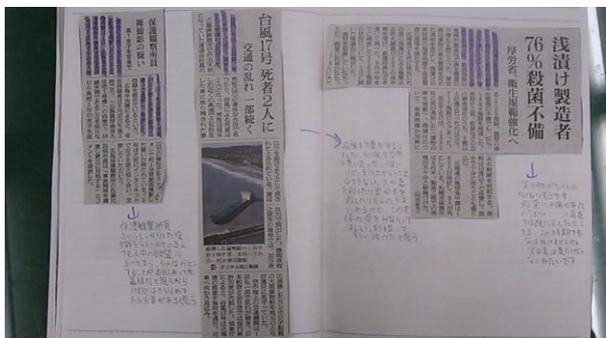
○実践の概要と内容

1、社会科「NIEノート」

本校では、生徒たち、1人1人が「NIEノート」を作成している。その中で社会全体の動きを通し、社会科への関心、興味を高めるねらいがある。

NIEノートは、社会科の授業がある前日に、各自が新聞の記事の中で、興味を持ったものをスクラップし、ノートに貼り、感想を書く。

そして、社会科授業で、各自の記事を発表、交流している。



1年間で1000記事以上(10冊以上)集める生徒もいた。全体の平均は107記事。

生徒配布用プリント

★NIE (Newspaper in Education)

【毎授業 最初5分程度】

最近の新聞から、記事を切り取り、ノートに貼り、自分なりにまとめたものを発表。

(発表できないもの＝プロ野球結果、天気予報など)

→定期テストに時事問題として出題。

新聞をとっていない人は、テレビのニュースやインターネットなどから

★NIEノート

(突然授業中に回収します。欠席者以外遅れての提出は認めません。)

視点1、どれぐらいの頻度で記事をまとめているか。

(もちろん、毎日が望ましい。)

2、新聞を、きれいに切り取り、張ること。

3、「日付」、記事の「まとめ」、自分の「感想(15文字以上)」をしっかりと書いているかどうか。

1と2と3ができていれば「A」

頻度は社会科がある日の前日にする(社会科の授業数)が基本

それ以上は「プラスα」

「NIE発表について」のねらい

- 大きな声で「わかりやすくまとめる」と「感想」をテーマに発表させる。
 - ・正しい日本語を読む力
 - ・記事の内容を理解し、まとめる力
 - ・自分の感想を表現する力
- 記事すべてではなくていいので、要点を絞りメモを取る。
 - ・記事への興味・関心を持たせる
 - ・聞く力 ・まとめる力 ・書く力

2、NIEコーナー

(新聞の置き場・整理)



気になったニュースを、テーマ別に集めて、いつでも読めるようにしている。

3、NIE川柳



NIEノートから、2013年に自分の気になるニュースを選び、5・7・5の川柳にした。

授業の中で、作品の発表交流会を行い、各クラスの優秀作品を投票で選んだ。

生徒作品 (冬季課題)

消費税
値上がり前の
無駄遣い

おもてなし
日本の心
うらはなし

文化遺産
和食作る人
わー職人

絶対に
出場してやる
七年後

4、HAPPY NEWS

特別学校賞 受賞

日本新聞協会が主催する「HAPPY NEWS」に取り組みました。

読んで幸せな気持ちになった記事にコメントを付けて応募しました。

協会より、全校生での取り組みが評価され、特別学校賞を受賞しました。



(2013/4/5 神戸新聞記事)

5、「いっしょに読もう！」

新聞コンクール」

日本新聞協会主催の「いっしょに読もう！新聞コンクール」に取り組みました。家族や友達と記事を読み、感想や意見を応募しました。

本校では、奨励賞（個人）を受賞しました。

山田美琴さん

「US」字幕つけて

～聴覚障害者ら署名活動～

(朝日新聞 2013年8月17日朝刊分)

6、新聞記者派遣

NIE推進事業の1つである、新聞記者派遣を行いました。読売新聞阪神支局の松田俊輔記者に、体育館で1年生全員に対して「新聞記事の作り方」「取材の仕方」「写真の撮り方」などを講話していただきました。

〔生徒の感想〕

- ・たった1枚の写真で、記事内容がわかるようなものを撮るとするのが難しそうだった。
- ・とても大変な仕事だと思った。記事をつくっておいて、夕刊に出すという手早さがすごい。
- ・有名人に会えるのはうらやましいと思った。



(2013/11/27 読売新聞記事)

7、朝NIE

本校は、朝学活前の10分間に「平木タイム」として、読書に取り組んでいる。その時間帯を利用して「朝NIE」にも取り組み始めている。

共通の新聞記事を配布し、文章の読み取りと、その記事への感想を書かせている。取り組みとしては、まだ数回の実施だが、今後は定着させていきたいと考えている。

8、授業研究会

「学び合い」と「ことばの力」をテーマにし、NIEを活用して、コの字型座席、4人班での学習をより深めることを目指して、授業研究会を校内で行いました。

○指導案（抜粋）

（1）教材観

新学習指導要領の改訂において、「思考力」「判断力」「表現力」の基盤となる「言語力」の育成が強く求められている。そのために言語活動の充実を図る。こうした観点から、小学校社会科、高等学校地理歴史科、公民科とともに、中学校社会科地理的、歴史的、公民的分野の学習においても、資料の活用を中心とした技能の育成を一層重視することになっている。

三大義務の1つである、「納税」は、われわれの

社会の仕組みにおいても重要なものである。生徒にとって身近な「消費税」が、2014年4月に増税される。また2014年中には、さらなる増税も国会で検討される見通しであることを受け、税に対して考えさせたい。そこで、日頃より取り組んでいる「NIEノート」や新聞を通して、新聞記事や資料を読み取ることができ、自分の意見を持たせ、他の意見との交流をすることで、無味乾燥なものになりがちな学習を、社会的な技能を高めようとする意欲がわくようにと考えた。自信が持てない生徒のフォローのため学習班で行う。この時、NIEノートや記事を使って社会の様子を各自が補足して、税に興味・関心を持たせる。

○今後の課題

本校では、5年前より「NIEノート」の作成に、生徒1人1人が取り組んでいる。最初は社会科に興味・関心が低い生徒も、NIEノート活動を続けていく中で、社会全体への視野が広がり、意欲も高まっているように感じる。

「お互いの発表を聞くのが楽しい」

「新聞を読むようになった」

「この記事を発表したい」

「家族でニュースについて話をする機会が増えた」という感想が多くなった。

今後は、さらに校内での新聞の活用方法を考え、NIE係による校内記事展示などを行っていきたい。

学習室前の新聞や記事掲示について読むことがある	19	44	36	19
NIEノートについての取り組みが楽しい	26	56	27	9
社会科に対する関心・興味・意欲が高くなった	30	57	28	3
家族や友人と、記事の話題をすることが増えた	16	47	42	13
新聞やニュースを見る機会が増えた	54	54	7	3